

令和6年度 全国学力・学習状況調査 能美市結果〔小学校〕

令和6年9月 能美市教育委員会

- 1 実施校・学年 市内8学校 第6学年
- 2 実施日 令和6年4月18日（火）
- 3 実施内容 （文部科学省HPより引用）

（1）教科に関する調査 国語，算数

＜出題範囲＞

調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とする。

＜出題内容＞

- ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や，実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
 - ②知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や，様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容
- 調査問題では，上記①と②を一体的に問うこととする。出題形式については，国語及び算数においては，記述式の問題を一定割合で導入する。

（2）質問紙調査（生徒質問紙） 学習意欲，学習方法，学習環境，生活の諸側面等 ICT端末を用いたオンラインによる回答方式で実施する。

- 4 注意事項
調査結果は学力の特定の一部であり，学校における教育活動の一つの側面であることをご理解ください。

5 調査結果

（1）教科に関する調査の状況

【国語】

＜成果＞

- ・ 図などによる語句と語句との関係の仕方を理解し使うことができます
- ・ 日常的に読書に親しみ，読書が考えを広げることに役立つことに気付くことができます
- ・ 人物像や物語の全体像を具体的に想像したり，表現の効果を考えたりすることができます

＜課題＞

- ・ 目的や意図に応じて，日常の中から話題を決め伝え合う内容を検討することに課題があります
- ・ 資料を活用するなどして，自分の考えが伝わるように表現を工夫することに課題があります
- ・ 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことに課題があります

【算数】

＜成果＞

- ・ 数量の関係を，□を用いた式に表すことができます
- ・ 直方体の見取図について理解し，かくことができます
- ・ 円グラフの特徴を理解し，割合を読み取ることができます

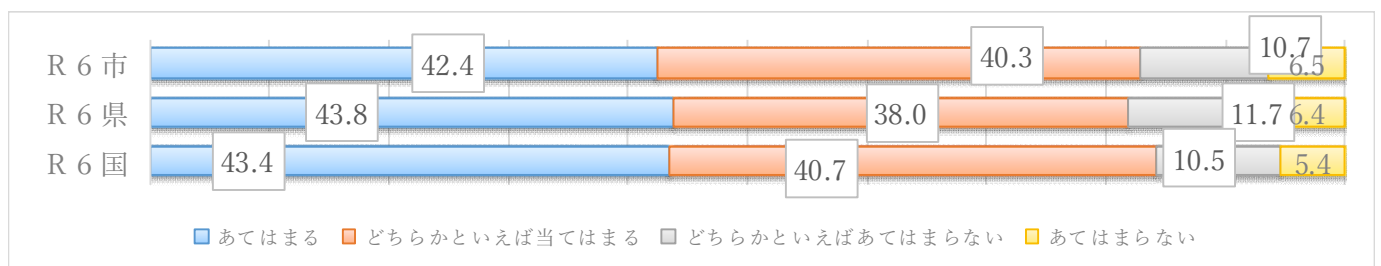
＜課題＞

- ・ 速さについて時間を軸に判断し，その理由を言葉や数を用いて記述できることに課題があります
- ・ 球の直径の長さと同立方体の一辺の長さの関係を捉え，立方体の体積の求め方を式に表すことに課題があります
- ・ 折れ線グラフから必要な数値を読み取り，条件に当てはまることを言葉と数を用いて記述できることに課題があります

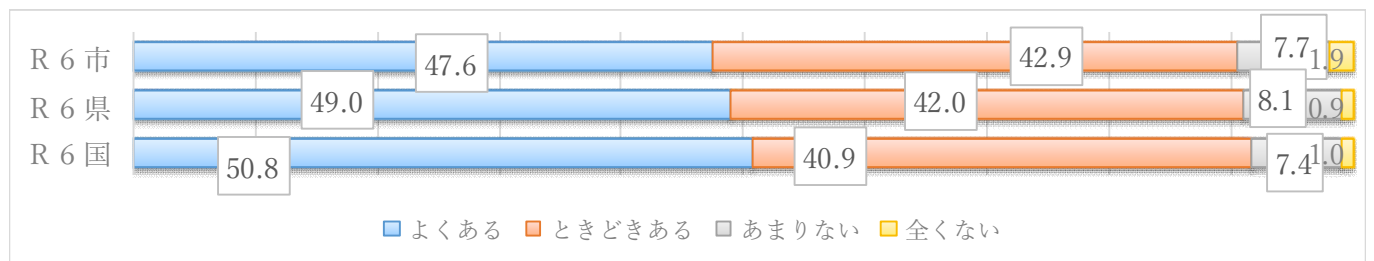
（２）生徒の状況を示す質問紙調査から見てくる能美市の小学校６年生の姿

① 自分を肯定的にとらえている児童が約８割、幸せな気持ちで生活を送っている児童が約９割います。

<自分には、よいところがあると思いますか>



<普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか>



<友達関係に満足していますか>

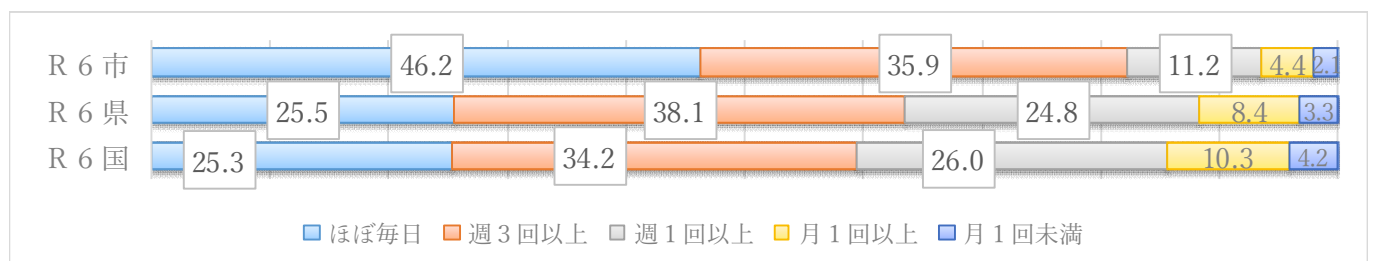


【質問紙調査で「当てはまる」「どちらかといえばあてはまる」など肯定的に回答している児童の割合】

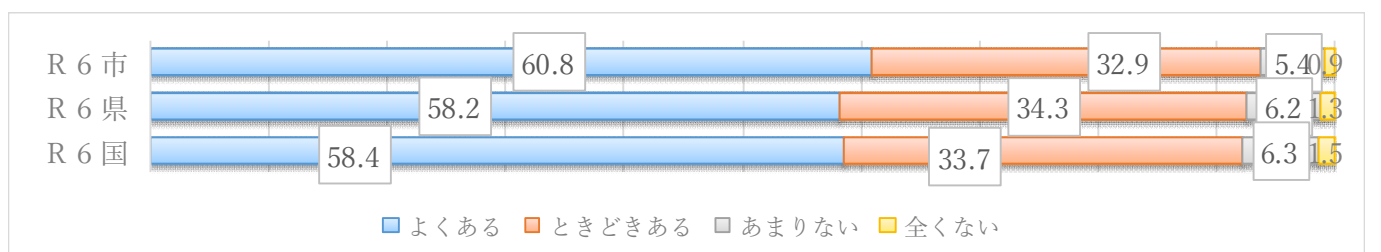
- ・人が困っているときは、進んで助けますか（92.3%）
- ・先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか（89.3%）
- ・人の役に立つ人間になりたいと思いますか（95.6%）

② １人１台端末など ICT 機器を活用した授業の充実により、学びを深めている児童が多くいます。

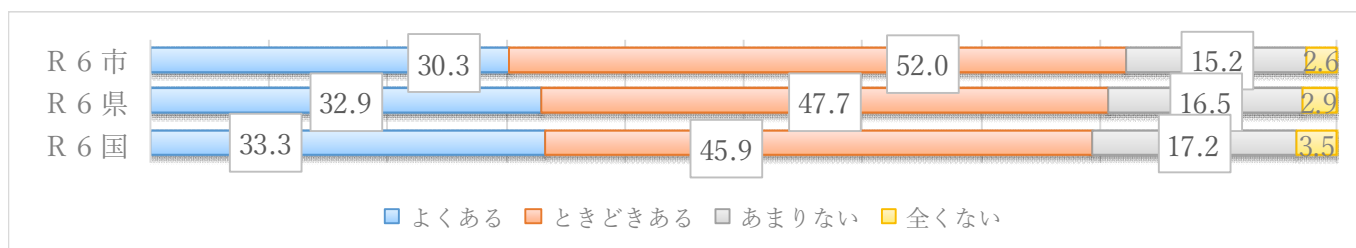
< P C ・タブレットなどの I C T 機器をどの程度使用しましたか>



<分からないことがあった時に、すぐ調べることができる>



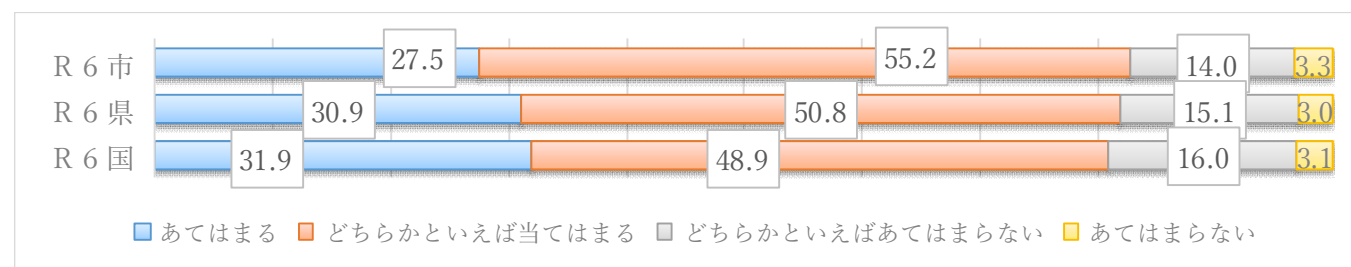
<自分の考えや意見を分かりやすく伝えることができる>



- ・自分のペースで理解しながら学習を進めることができる (85.5%)
- ・楽しみながら学習を進めることができる (85.6%)
- ・画像や動画、音声等を活用することで、学習内容がよく分かる (90.7%)
- ・友達と考えを共有したり比べたりしやすくなる (92.5%)
- ・友達と協力しながら学習を進めることができる (92.1%)

③学習した内容を身に付けようとしている児童が多数います。

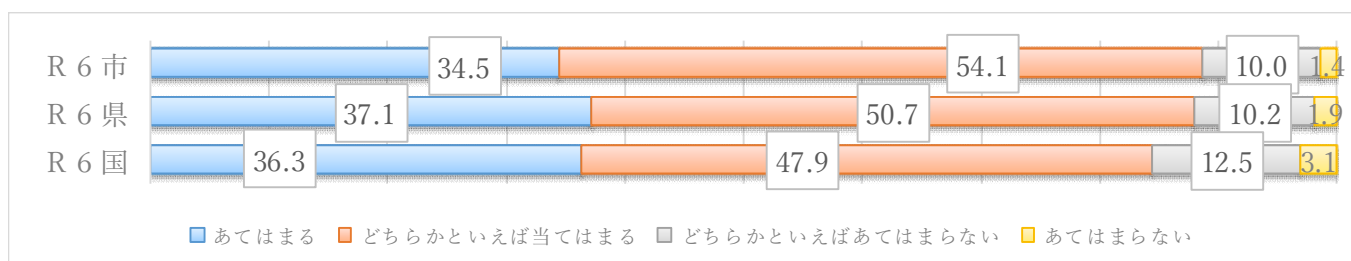
<学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか>



- ・各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか (77.3%)
- ・先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、わかるまで教えてくれていると思いますか (90.7%)
- ・自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか (88.5%)

④友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組む児童が多数います。

<授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか>



- ・学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。(85.6%)
- ・学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか。(86.0%)
- ・あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか (92.4%)
- ・道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか。(83.9%)

(3) 教科に関する調査・質問紙調査の結果をふまえて

能美市教育委員会及び能美市内各校において、これまで子供たちの学力や学習状況を把握し、学力向上につながる取組を行ってきましたが、その取組の成果が少しずつ結果に表れてきていると捉えています。これまで行ってきた以下の取組を今後も継続して、地道に実践を重ねていくことで、能美市の子供たちの力をさらに伸ばしていきたいと考えています。

能美市教育委員会と学校が推進していくこと

■ 学校全体で取り組む学力向上

能美市教育委員会では、子供たちが未来社会を切り拓くための資質・能力を確実に育成することが重要だと考えています。

教科に関する調査の内容は、これからの子供たちに必要な資質・能力が、教科の内容を通して表されたメッセージと捉えています。実施した当該学年に限定した結果とするのではなく、解答状況や誤答の傾向を設問ごとに丁寧に分析することで、学校全体で授業改善に取り組み学力向上を目指します。

■ 学びを自覚できる授業づくり

能美市の学校では一人一人の資質・能力を伸ばせるように、下記のような授業を目指し学校全体で取り組みます。

- ・授業の目標を生徒と共有し、学ぶ目的が明確になっている授業
- ・各教科の知識や技能がしっかりと定着する授業
- ・自分の考えを持ち、生徒同士の学び合いで考えを広めたり深めたりできる授業
- ・思考・判断したことを、根拠や筋道を明確にして表現する力を育む授業
- ・視点を明確にして授業を振り返るなど、1人1人が個に戻って自分の学びを自覚できる授業
- ・1人1台端末やICT機器を効果的に活用することで、個別最適な学びと協働的な学びが一体となって実現する授業

■ 学びの基盤づくり

学習の基盤をつくる活動を充実させ、周りの人を大切にし、互いに高め合っていく学級づくり・学校づくりを推進します。子供たちが、安心して過ごせる学級・学校を目指していきます。

家庭・地域の方々と協働して進めていきたいこと

■ 「早寝・早起き・朝ごはん」運動の推進

毎日決まった時間に寝起きすること、食事をきちんととることは、子供たちが学校生活を生き生きと過ごす基盤となります。規則正しい生活「早寝・早起き・朝ごはん」を家族みんなで心がけましょう。

■ 節度あるメディアの使い方

メディアは本来、正しく利活用すべきものですが、適正な使い方ができないと生活が乱れてしまいがちです。テレビやゲームの時間や携帯電話やスマートフォンなどの使用と合わせて、ネットトラブルを防ぐためにも、家庭でしっかりと話し合ってルールを決めましょう。

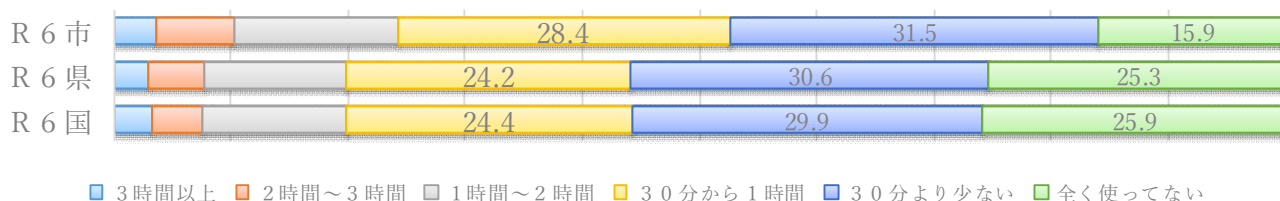
■ 家庭学習の確立

学校の宿題の他に、教科書を使った授業の予習や、ノートを振り返ってその日の復習をすると授業の理解が深まります。また、AIドリルを使って復習することで、一人一人のつまずきや理解度に応じた問題に取り組むことができます。その時授業で学んでいる内容だけでなく、苦手な教科や単元、習ってから時間が経ってしまった内容など、基礎基本の確実な定着に効果的です。

⇒ 学校で学習した内容を確実に定着させるには、家庭学習を充実させることが大切です。

能美市立小学校では基本的に、1日の家庭学習の目標時間を「10分×学年」以上に設定しています。6年生は「10分×6＝60分」。1時間以上が目標時間です。

学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っていますか（遊びなどの目的に使う時間は除く）



テレビやゲーム、携帯電話・スマホの適切な使い方について、家庭でルールをつくり、予習や復習などの家庭学習を充実させましょう！